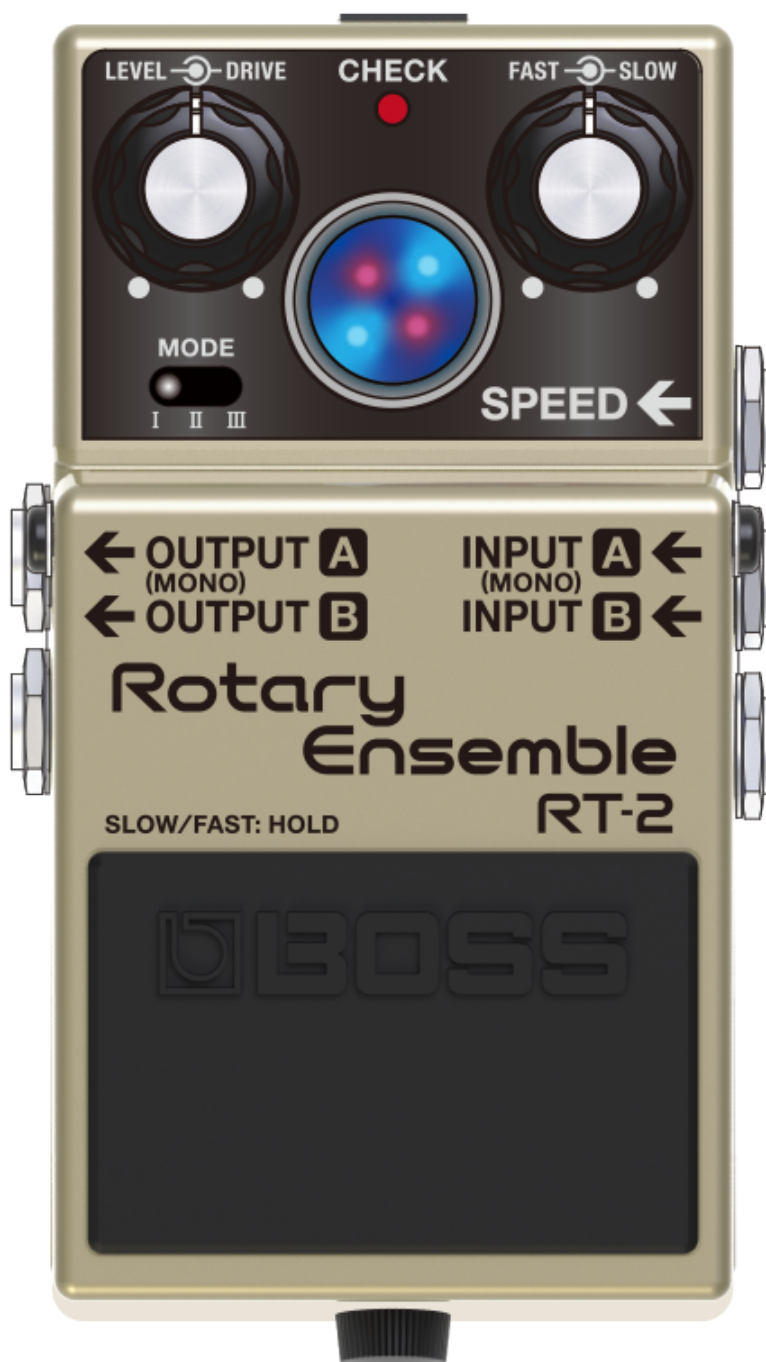




RT-2

取扱説明書

本機を正しくお使いいただくために、ご使用前に「安全上のご注意」と「使用上のご注意」（『安全上のご注意』チラシと[取扱説明書（P.20）](#)）をよくお読みください。お読みになったあとは、すぐに見られるところに保管しておいてください。

Roland Backstageに登録

Roland Backstageは、ローランド株式会社が運営する無料の会員サイトです。

ご登録いただくと「Rolandアカウント」が作成され、会員様専用のサービスやサポートがご利用いただけます。

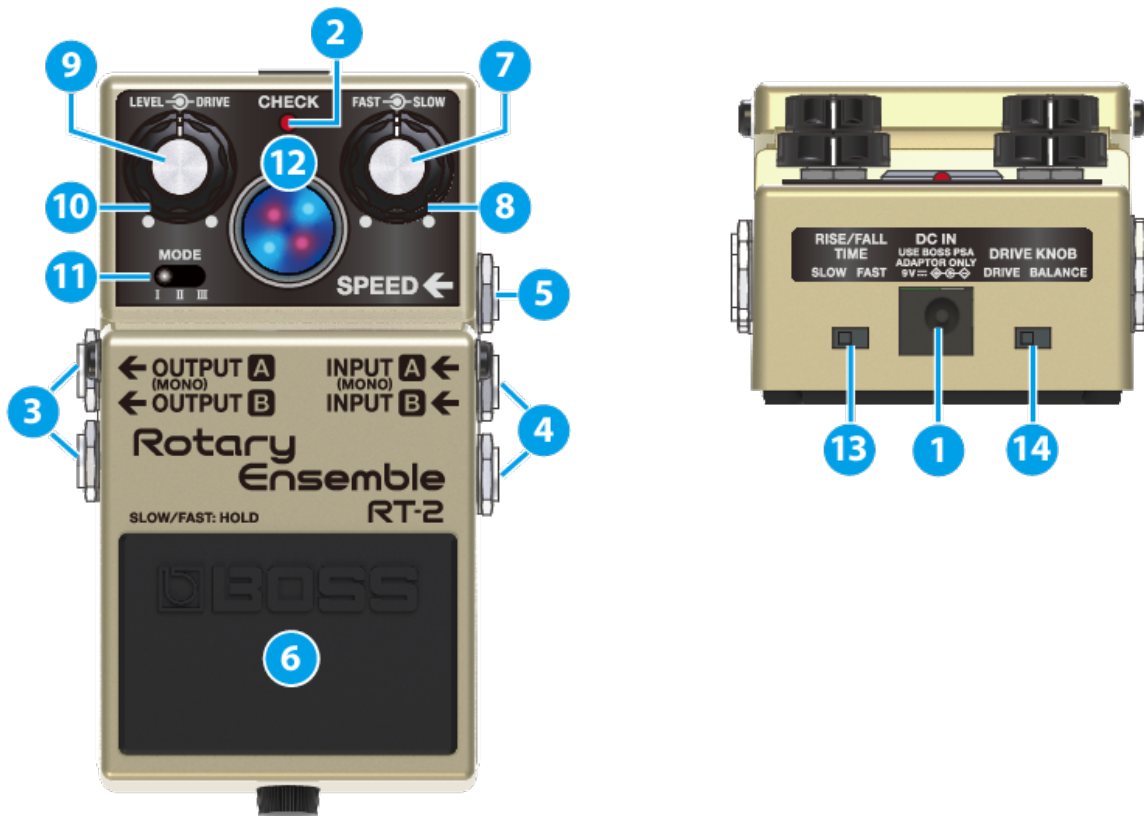
- ご購入された製品を登録すると、マイページから製品のアップデート情報や関連情報を入手できます。
- 製品に関する大切なお知らせなどをメールでお届けします。
- 会員様専用フォームから、お問い合わせや修理のお申し込みができます。
- 会員様限定のキャンペーン情報をお届けします。



同梱されたカードの二次元コードをスマートフォンで読み取るか、以下のURLにアクセスしてください。

<https://www.boss.info/start/>

各部の名称とはたらき



名称	説明
1 DC IN端子	別売りのACアダプター (PSA-100S) を接続する端子です。 ACアダプターを使用すれば、電池切れの心配をせずに長時間の演奏ができます。 * 別売りのACアダプター (PSA-100S) は、必ず指定のものを、AC100Vの電源で使用してください。 * 電池が入っている状態でACアダプターを接続すると、電源はACアダプター側から供給されます。
2 CHECK (チェック) インジケーター	エフェクト・オン／オフの表示、回転スピードの表示、バッテリー・チェックの機能を兼ね備えたインジケーターです。 エフェクト・オン時に点灯して、エフェクト・オン／オフの確認ができます。 ローターの回転スピードがFASTのときは赤色で点灯、ローターの回転スピードがSLOWのときは緑色で点灯します。 * インジケーターが暗くなったり点灯しなくなったりしたときは、電池が消耗していますので、新しい電池と交換してください。交換方法については、「電池交換のしかた (P.6)」をご覧ください。
3 OUTPUT A(MONO) 端子、OUTPUT B端子	アンプやモニター・スピーカーに接続します。 モノで使用するときは、OUTPUT A (MONO) 端子のみに接続します。 ステレオで使用するときは、OUTPUT A (MONO) 端子とOUTPUT B端子に接続します。 OUTPUT A (MONO) 端子とOUTPUT B端子の両方に接続すると、OUTPUT MODEの設定に応じた効果が得られます。詳しくは「エフェクト音の出力のしかたを選ぶ (OUTPUT MODE) (P.14)」をご覧ください。

各部の名称とはたらき

	名称	説明
4	INPUT A(MONO) 端子、INPUT B 端子	ギター、ベース、キーボードやエフェクターを接続します。 モノで使用するときは、INPUT A (MONO) 端子のみに接続します。ステレオ出力のエフェクターを接続するときは、INPUT A (MONO) 端子とINPUT B端子に接続します。 INPUT A (MONO) 端子は、電源スイッチも兼ねています。INPUT A (MONO) 端子にプラグを差し込むと電源がオンになります。
5	SPEED端子 (CTL/EXP端子)	フットスイッチやエクスプレッション・ペダルを接続します。 CTL端子として使う： 別売りのフットスイッチ (FS-5U、FS-6、FS-7) を接続して、SLOW／FASTの切り替えやBRAKE機能をコントロールすることができます。 割り当てられる機能については「フットスイッチを使う (P.9)」をご覧ください。 EXP端子として使う： 別売りのエクスプレッション・ペダル (EV-30、Roland EV-5など) を接続して、エクスプレッション・ペダルのつま先側と、かかと側のエフェクト設定を連続的に変化させることができます。 機能の設定については「エクスプレッション・ペダルでつまみのパラメーターをコントロールする (EXP FUNCTION) (P.10)」をご覧ください。 * エクスプレッション・ペダルは、必ず指定のものをお使いください。他社製品を接続すると、本体の故障の原因になる場合があります。
6	ペダル・スイッチ	エフェクトのオン／オフ、またはローターの回転スピード (SLOW／FAST) を切り替えます。ペダル・スイッチには4つのタイプがあり、演奏スタイルに合わせて変更することができます。工場出荷時はタイプ1になっています。 タイプ1： (エフェクト・オン／オフ優先) ペダル操作でエフェクトのオン／オフをします。ペダルを長押しするとSLOW／FASTを切り替えます。 タイプ2： (SLOW／FAST優先) ペダル操作でSLOW／FASTを切り替えます。ペダルを長押ししてから、足を離れたタイミングでエフェクトがオフになります。 エフェクト・オフのときに押すと、エフェクト・オンになります。 タイプ3： (エフェクト・オン／オフ優先) ペダル操作でエフェクトのオン／オフをします。エフェクト・オン時は必ずSLOWになり、ペダルを長押ししている間だけFASTになります。 タイプ4： (エフェクト・オン／オフ優先) ペダル操作でエフェクトのオン／オフをします。エフェクト・オン時は必ずFASTになり、ペダルを長押ししている間だけSLOWになります。
7	[FAST SPEED] つまみ	FASTに切り替えたときの、ローターの回転スピードを調節します。
8	[SLOW SPEED] つまみ	SLOWに切り替えたときの、ローターの回転スピードを調節します。
9	[LEVEL] つまみ	エフェクト・オンのときの音量を調節します。
10	[DRIVE] つまみ	歪みを調節します。 [MODE] スイッチが「III」のときは、歪み量と音量が強調されます。 * [DRIVE KNOB] スイッチで、[DRIVE] つまみの機能を切り替えることができます。

	名称	説明
11	[MODE] スイッチ	I : LESLIE 122の標準的なセッティングのサウンドです。 3つのモードの中で最もオーソドックスで、楽器を問わず幅広くお使いいただけます。 II : モード I のサウンドを基本にしつつ、ワイドレンジに調整したモードです。 他の歪みエフェクターと組み合わせたとくにも、自然な広がり感が得られます。 III : 強い回転感とより深い歪みを組み合わせた、新次元のロータリー・サウンドです。 他のモードと比べてアタック感や音の輪郭、歪み量を強調しているため、アンサンブルの中でも存在感を発揮します。
12	VIRTUAL ROTOR (バーチャル・ローター)	ロータリー・スピーカー効果を、インジケータの光の動きで視覚的に表示します。 赤い光はTREBLE (トレブル) ローター、青い光はBASS (ベース) ローターの回転を示します。
13	[RISE/FALL TIME] スイッチ	SLOW→FAST、FAST→SLOWへ切り替えたときの変化スピードを調節します。 SLOW : 切り替え時間が遅くなります。 FAST : 切り替え時間が速くなります。
14	[DRIVE KNOB] スイッチ	[DRIVE] つまみの機能を切り替えます。 DRIVE : 歪み量を調節します。 BALANCE : TREBLEローターとBASSローターの音量バランスを調節します。 DRIVEとBALANCEの値は、最後につまみで操作されたときの値を記憶します。 工場出荷時の状態に戻すと、DRIVEは最小、BALANCEは中央になります。

* 他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞り、すべての機器の電源を切ってください。

* 抵抗入りの接続ケーブルは使用しないでください。

電池交換のしかた

電池について

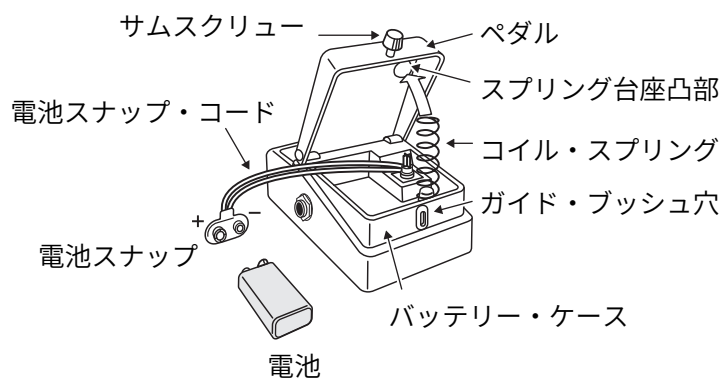
- この機器には、工場出荷時に電池がセットされています。この電池は検査用のため、寿命が短い場合があります。
- 電池で使用する場合はアルカリ電池を使用してください。
- 電池の使いかたを間違えると、破裂したり、液漏れしたりする恐れがあります。チラシ「安全上のご注意」「使用上のご注意」に記載の電池に関する注意事項を守って正しくお使いください。
- 電池の消耗が著しいと音が歪みやよくなる場合がありますが故障ではありません。このようなときは電池を交換するか、別売のACアダプターを使用してください。

注意

- 電池駆動のときは、電池が消耗してくるとCHECKインジケーターが暗くなります。早めに電池を交換してください。
- 電池駆動のときにノイズが気になる場合は、電池が消耗している可能性があります。電池の交換や、別売のACアダプターの使用をお試しください。
- 電池駆動のときにCHECKインジケーターが点灯／消灯を繰り返す場合は、電池が消耗している可能性があります。電池の交換や、別売のACアダプターの使用をお試しください。

電池を交換する

電池のセットや交換は、誤動作や故障を防ぐため、他の機器と接続する前にしてください。



1 ペダル・スイッチを押さえながらサム・スクリューをゆるめて、ペダルを上を開きます。

サム・スクリューを完全に取りはずさなくても、ペダルが開けられます。

2 バッテリー・ケースから電池を取り出し、電池スナップをはずします。

3 新しい電池を電池スナップに接続し、バッテリー・ケースに入れます。

電池の極性（＋／－）を間違えないようにご注意ください。

4 コイル・スプリングをペダル裏のスプリング台座凸部に入れ、ペダルを閉じます。

ペダルやコイル・スプリング、バッテリー・ケースなどに、電池スナップ・コードをはさまないようにご注意ください。

5 サム・スクリューをガイド・ブッシュ穴に入れ、確実に締めてください。

電源を入れる／切る

- * 正しく接続したら、必ず次の手順で電源を入れてください。手順を間違えると、誤動作をしたり故障したりすることがあります。
- * 電源を入れる／切るときは、音量を絞ってください。音量を絞っても電源を入れる／切るときに音がすることがありますが、故障ではありません。

電源を入れるとき

1 INPUT A (MONO) 端子にプラグを接続します。

RT-2の電源が入ります。

エフェクトがオフ（CHECKインジケーターが消灯）の状態ですべて起動します。

メモ

起動時にCHECKインジケーターが一定時間点灯します。

2 アンプなどの電源を入れます。

電源を切るとき

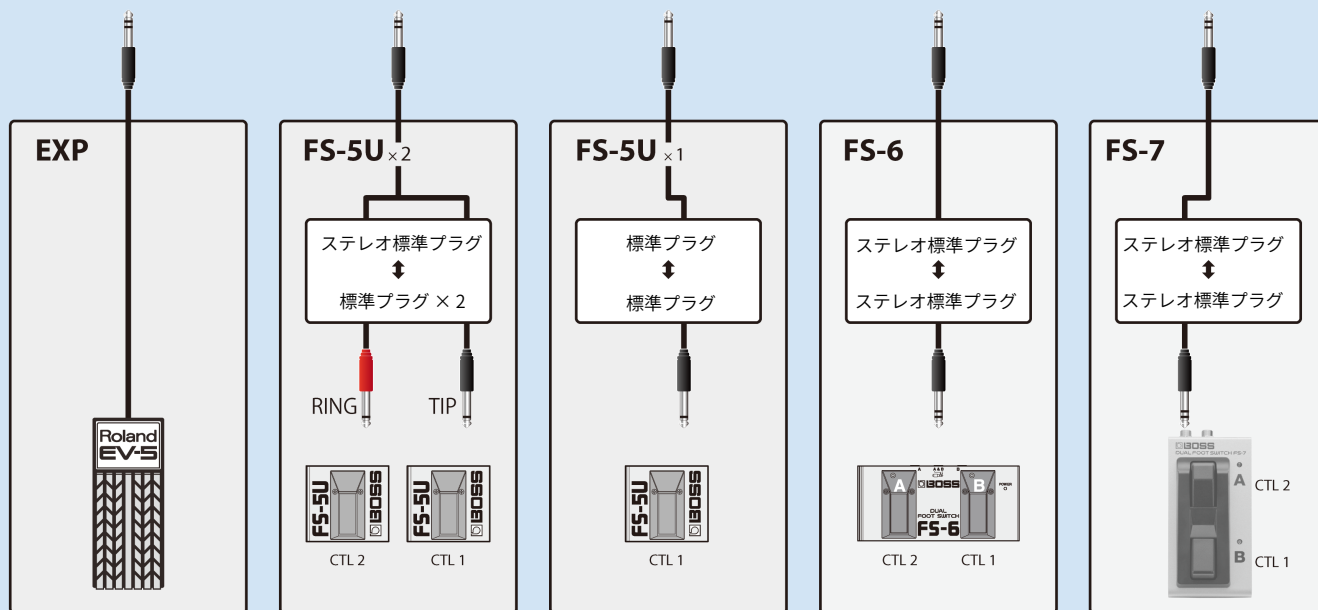
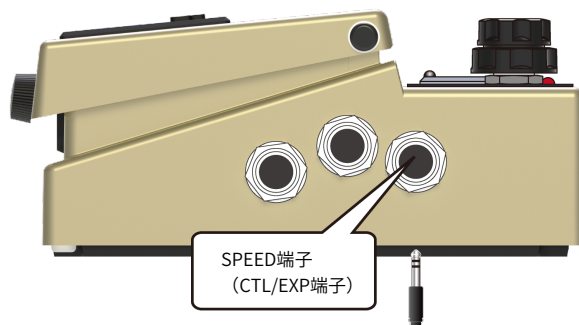
1 アンプなどの電源を切ります。

2 INPUT A (MONO) 端子からプラグを抜きます。

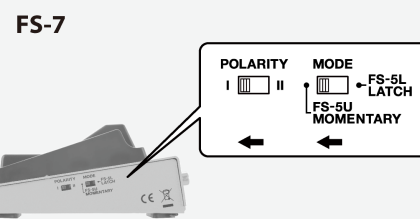
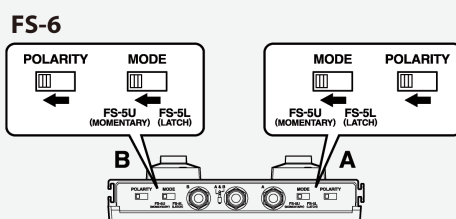
RT-2の電源が切れます。

外部ペダルを接続する

外部ペダル（フットスイッチやエクスプレッション・ペダル）を使うときは、以下のように接続します。



モード／ポラリティー・スイッチ



フットスイッチを使う

SPEED端子（CTL/EXP端子）にフットスイッチを接続すると、SLOW／FASTの切り替えやBRAKE操作をすることができます。

フットスイッチ	CTL1の機能	CTL2の機能
FS-5U	SLOW／FAST切り替え	-----
FS-5U x 2、FS-6、FS-7	SLOW／FAST切り替え	BRAKE操作

注意

フットスイッチを接続しているときは、本体のペダル・スイッチ動作はエフェクト・オン／オフ切り替えに固定されます。（ペダル・スイッチ操作でのSLOW／FASTの切り替えはできなくなります。）

BRAKE操作

BRAKE（ブレーキ）操作によって、ローターの回転を停止させることができます。

1 フットスイッチCTL2を踏みます。

ローターの回転が停止します。

ローターの回転が停止するまでの時間は、[RISE/FALL TIME] スwitchの位置で変わります。スイッチがSLOW側のときは回転停止までの時間が長くなり、FAST側のときは回転停止までの時間が短くなります。

2 BRAKEを解除するときは、もう一度フットスイッチCTL2を踏みます。

エクスプレッション・ペダルでつまみのパラメーターをコントロールする (EXP FUNCTION)

SPEED端子に別売のエクスプレッション・ペダル（EV-30、Roland EV-5など）を接続すると、ロータリー・スピーカーの回転スピード、LEVEL、DRIVE、BALANCEの設定をエクスプレッション・ペダルでコントロールすることができます。

エクスプレッション・ペダルのつまみ先側を踏み込んだ最大値（MAX）のときの値と、かかと側を踏み込んだ最小値（MIN）のときの値を設定して、連続的に変化させることができます。

工場出荷時は、エクスプレッション・ペダルでロータリー・スピーカーの回転スピードがコントロールできます。

エクスプレッション・ペダルでコントロールするパラメーターを変更するときは、以下の操作をします。

- 1 **RT-2の電源をオフにします（INPUT A（MONO）端子からプラグを抜きます）。**
- 2 **[FAST] つまみを、最大値（MAX）まで回します。**
- 3 **[FAST] つまみ以外を、最小値（MIN）まで回します。**
- 4 **[MODE] スイッチを、「III」の位置に合わせます。**



- 5 **ペダル・スイッチを押しながら電源をオンにします（INPUT A（MONO）端子にプラグを接続します）。**
CHECKインジケーターが点滅し、設定モードになります。
- 6 **[DRIVE] つまみで、エクスプレッション・ペダルに割り当てるパラメーターを選びます。**
選んだパラメーターに応じて、VIRTUAL ROTOR（バーチャル・ローター）の表示が変わります。

VIRTUAL ROTOR（赤）の表示	説明
12時の位置で点灯 	LEVELをコントロールします。
3時の位置で点灯 	DRIVEをコントロールします。

エクスプレッション・ペダルでつまみのパラメーターをコントロールする (EXP FUNCTION)

VIRTUAL ROTOR (赤) の表示	説明
6時の位置で点灯 	BALANCEをコントロールします。
9時の位置で点灯 (工場出荷時) 	ロータリー・スピーカーの回転スピードをコントロールします。 * エクスプレッション・ペダルのかかと側を踏み込んだ状態のときに [SLOW] つまみ、つま先側を踏み込んだときに [FAST] つまみの設定値まで変化します。 * エクスプレッション・ペダルで回転スピードをコントロールしている間は、CHECKインジケーターがオレンジ色で点灯します。

7 [SLOW] つまみで、エクスプレッション・ペダルの、かかと側を踏み込んだ状態 (最小) の値を設定します。

手順6でロータリー・スピーカーの回転スピードを選んでいるときは、設定できません。

8 [FAST] つまみで、エクスプレッション・ペダルの、つま先側を踏み込んだ状態 (最大) の値を設定します。

手順6でロータリー・スピーカーの回転スピードを選んでいるときは、設定できません。

9 ペダル・スイッチを押します。

CHECKインジケーターが赤色で高速点滅し、エクスプレッション・ペダルのパラメーターの設定値が記憶されます。

2～3秒ほどで、演奏ができる通常動作に戻ります。

* この設定は、電源をオフにしても記憶しています。

注意

以下の条件のときは、設定したペダル・スイッチの動作にかかわらず、ペダル・スイッチはエフェクト・オン／オフ切り替えに固定されます。

- SPEED端子 (CTL/EXP端子) にエクスプレッション・ペダルが接続され、ロータリー・スピーカーの回転スピードをコントロールするように設定されているとき

ペダル・スイッチの動作を変える

工場出荷時はペダル・スイッチの操作でエフェクトのオン／オフ、ペダル・スイッチを長押しするとSLOW／FASTの切り替えができますが、この動作を変えることができます。

ペダル・スイッチの操作でSLOW／FASTを切り替えたり、長押ししている間だけSLOW（FAST）に切り替えたりと、演奏スタイルに合わせて動作を選ぶことができます。

ペダル・スイッチの動作を変更するときは、以下の操作をします。

- 1 **RT-2の電源をオフにします（INPUT A（MONO）端子からプラグを抜きます）。**
- 2 **[SLOW] つまみを、最大値（MAX）まで回します。**
- 3 **[SLOW] つまみ以外を、最小値（MIN）まで回します。**
- 4 **[MODE] スイッチを、**[I]** の位置に合わせます。**



- 5 **ペダル・スイッチを押しながら電源をオンにします（INPUT A（MONO）端子にプラグを接続します）。**

CHECKインジケーターが点滅し、設定モードになります。

- 6 **[DRIVE] つまみで、ペダル・スイッチのタイプを選びます。**

選んだタイプに応じて、VIRTUAL ROTOR（バーチャル・ローター）の表示が変わります。

タイプ	VIRTUAL ROTOR （青）の表示	説明
タイプ1 （工場出荷時）	12時の位置で点灯 	ペダル・スイッチ操作： • エフェクト・オン／オフを切り替えます。 ペダル・スイッチ長押し： • エフェクトのオン／オフ状態に関係なく、SLOW／FASTを切り替えます。
タイプ2	3時の位置で点灯 	ペダル・スイッチ操作： • エフェクト・オフのときに押すと、エフェクト・オンになります。 • エフェクト・オンのときに押すと、SLOW／FASTを切り替えます。 ペダル・スイッチ長押し： • エフェクト・オンのときに長押しすると、CHECKインジケーターが点滅します。ペダル・スイッチを離れたタイミングでエフェクトがオフになります。
タイプ3	6時の位置で点灯 	ペダル・スイッチ操作： • エフェクト・オン／オフを切り替えます。 • 必ずSLOWの状態でエフェクト・オンになります。 ペダル・スイッチ長押し： • 長押ししている間はFASTになります。ペダル・スイッチを離すとSLOWに戻ります。

タイプ	VIRTUAL ROTOR (青) の表示	説明
タイプ4	9時の位置で点灯 	ペダル・スイッチ操作： - エフェクト・オン／オフを切り替えます。 - 必ずFASTの状態ではエフェクト・オンになります。 ペダル・スイッチ長押し： - 長押ししている間はSLOWになります。ペダル・スイッチを離すとFASTに戻ります。

7 ペダル・スイッチを押します。

CHECKインジケーターが赤色で高速点滅し、ペダル・スイッチの動作が記憶されます。

2～3秒ほどで、演奏ができる通常動作に戻ります。

* この設定は、電源をオフにしても記憶しています。

注意

以下の条件のときは、設定したペダル・スイッチの動作にかかわらず、ペダル・スイッチはエフェクト・オン／オフ切り替えに固定されます。

- SPEED端子 (CTL/EXP端子) にフットスイッチが接続されているとき (SLOW／FASTはフットスイッチの操作で切り替えます。)
- SPEED端子 (CTL/EXP端子) にエクスプレッション・ペダルが接続され、ロータリー・スピーカーの回転スピードをコントロールするように設定されているとき

エフェクト音の出力のしかたを選ぶ（OUTPUT MODE）

OUTPUT MODEを変更することで、エフェクト音の出力のしかたを変えることができます。

OUTPUT MODEを変更するときは、以下の操作をします。

- 1 **RT-2の電源をオフにします（INPUT A（MONO）端子からプラグを抜きます）。**
- 2 **【FAST】つまみを、最大値（MAX）まで回します。**
- 3 **【FAST】つまみ以外を、最小値（MIN）まで回します。**
- 4 **【MODE】スイッチを、「I」の位置に合わせます。**



- 5 **ペダル・スイッチを押しながら電源をオンにします（INPUT A（MONO）端子にプラグを接続します）。**
CHECKインジケーターが点滅し、設定モードになります。
- 6 **【MODE】スイッチを、設定したいOUTPUT MODEに対応した位置に合わせます。**

【MODE】スイッチの位置	CHECKインジケーターの色	説明
I	現在の設定値の色	現在のOUTPUT MODEを表示します。 OUTPUT MODEの変更はされません。 現在のOUTPUT MODEに対応した色についての説明は、以下の「赤」「緑」の説明をご覧ください。
II	赤	ステレオ出力：（工場出荷時） OUTPUT A（MONO）端子とOUTPUT B端子に個別のエフェクト音 が出力され、ステレオ効果が得られます。
III	緑	エフェクト音（Wet）＋ダイレクト音（Dry）： エフェクト音（Wet）がOUTPUT A（MONO）端子から、ダイレク ト音（Dry）がOUTPUT B端子から出力されます。

- 7 **ペダル・スイッチを押します。**
CHECKインジケーターが赤色で高速点滅し、OUTPUT MODEの設定値が記憶されます。
2～3秒ほどで、演奏ができる通常動作に戻ります。
* この設定は、電源をオフにしても記憶しています。

ノイズ・サプレッサーの設定をする

RT-2にはノイズ・サプレッサーが内蔵されており、不要なノイズをカットすることができます。
ノイズ・サプレッサーの動作を変更するときは、以下の操作をします。

- 1 **RT-2の電源をオフにします（INPUT A（MONO）端子からプラグを抜きます）。**
- 2 **【SLOW】つまみを、最大値（MAX）まで回します。**
- 3 **【SLOW】つまみ以外を、最小値（MIN）まで回します。**
- 4 **【MODE】スイッチを、「III」の位置に合わせます。**



- 5 **ペダル・スイッチを押しながら電源をオンにします（INPUT A（MONO）端子にプラグを接続します）。**
CHECKインジケーターが点滅し、設定モードになります。
- 6 **【MODE】スイッチを、設定したいノイズ・サプレッサーの効果に対応した位置に合わせます。**

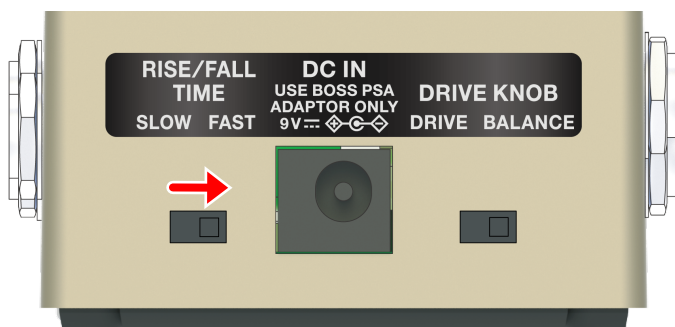
【MODE】スイッチの位置	CHECKインジケーターの色	説明
I	赤	ノイズ・サプレッサーをオフにします。（工場出荷時）
II	緑	ノイズが小さいときに効果的なノイズ・サプレッサーの設定です。
III	オレンジ	ノイズが大きいときに効果的なノイズ・サプレッサーの設定です。

この設定をしているときは、エフェクト音をモニターできます。ノイズ・サプレッサーの効き具合を確認しながら設定することができます。

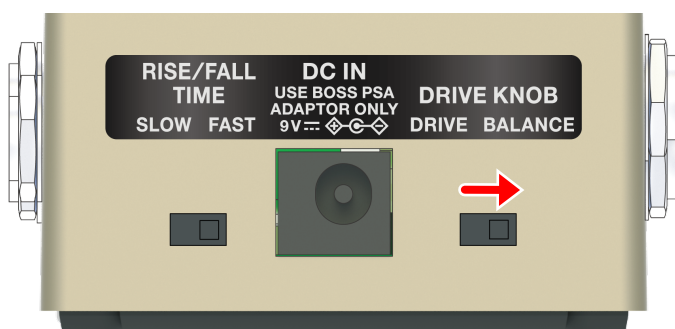
- 7 **ペダル・スイッチを押します。**
CHECKインジケーターが赤色で高速点滅し、ノイズ・サプレッサーの設定値が記憶されます。
2～3秒ほどで、演奏ができる通常動作に戻ります。
* この設定は、電源をオフにしても記憶しています。

工場出荷時の設定に戻す（ファクトリー・リセット）

- 1 RT-2の電源をオフにします（INPUT A（MONO）端子からプラグを抜きます）。
- 2 [RISE/FALL TIME] スイッチを「FAST」の位置に合わせます。



- 3 [DRIVE KNOB] スイッチを「BALANCE」の位置に合わせます。



- 4 [SLOW] つまみを、最大値（MAX）まで回します。
- 5 [SLOW] つまみ以外を、最小値（MIN）まで回します。
- 6 [MODE] スイッチを、「II」の位置に合わせます。



- 7 ペダル・スイッチを押しながら電源をオンにします（INPUT A（MONO）端子にプラグを接続します）。
CHECKインジケーターがオレンジ色でゆっくりと点滅します。
- 8 ペダル・スイッチを押します。
CHECKインジケーターがオレンジ色で高速点滅します。
CHECKインジケーターがオレンジ色の点灯に変わったら、RT-2が工場出荷時の設定に戻ります。
- 9 電源をオフにします（INPUT A（MONO）端子からプラグを抜きます）。

工場出荷時のパラメーターの設定

パラメーター	設定値
OUTPUT MODE → 「エフェクト音の出力のしかたを選ぶ（OUTPUT MODE）（P.14）」	ステレオ出力
EXP FUNCTION → 「エクスペレクション・ペダルでつまみのパラメーターをコントロールする（EXP FUNCTION）（P.10）」	ロータリー・スピーカーの回転スピード（SLOW/FAST）
ノイズ・サプレッサー → 「ノイズ・サプレッサーの設定をする（P.15）」	オフ
ペダル・スイッチのタイプ → 「ペダル・スイッチの動作を変える（P.12）」	タイプ1（ON/OFF優先、長押しでSLOW/FAST切り替え）
DRIVE → 「[DRIVE KNOB] スイッチ（P.5）」	最小
BALANCE → 「[DRIVE KNOB] スイッチ（P.5）」	中央

トラブルシューティング

トラブル	確認事項	対処
電源が入らない	INPUT A (MONO) 端子にプラグが接続されていますか？	プラグを正しく接続してください。
	電池が消耗していませんか？	新しい電池と交換してください。またはACアダプター（別売）を接続してください。
	指定のACアダプターPSA-100（別売）が正しく接続されていますか？	ACアダプターを正しく接続してください。
CHECKインジケーターが暗い／CHECKインジケーターが点灯と消灯を繰り返す	電池が消耗していませんか？	新しい電池と交換してください。またはACアダプター（別売）を接続してください。
音が出ない	OUTPUT MODEが正しく設定されていますか？	OUTPUT MODEの設定とOUTPUT端子の接続を確認してください。
	OUTPUT端子に出力装置が正しく接続されていますか？	→ 「エフェクト音の出力のしかたを選ぶ (OUTPUT MODE) (P.14) 」
〔DRIVE〕つまみを回しても音が歪まない／音がこもっている／音が細い	〔DRIVE KNOB〕スイッチが〔BALANCE〕側に設定されていませんか？	〔DRIVE KNOB〕スイッチを〔DRIVE〕側にセットしてから〔DRIVE〕つまみを回してください。
出力音にノイズが入る	電池が消耗していませんか？	新しい電池と交換してください。またはACアダプター（別売）を接続してください。

主な仕様

サンプル・レート	48kHz
AD変換	24ビット+AF方式 ※AF方式 (Adaptive Focus method) はADコンバーターのSN比を飛躍的に向上させるローランド/ボス独自の方式です。
DA変換	32ビット
規定入力レベル	INPUT A (MONO) 、INPUT B : -20dBu
最大入力レベル	INPUT A (MONO) 、INPUT B : +7dBu
入力インピーダンス	INPUT A (MONO) 、INPUT B : 1MΩ
規定出力レベル	OUTPUT A (MONO) 、OUTPUT B : -20dBu
最大出力レベル	OUTPUT A (MONO) 、OUTPUT B : +7dBu
出力インピーダンス	OUTPUT A (MONO) 、OUTPUT B : 1kΩ
推奨負荷インピーダンス	OUTPUT A (MONO) 、OUTPUT B : 10kΩ以上
バイパス	バッファード・バイパス
コントロール	[SLOW] つまみ [FAST] つまみ [DRIVE] つまみ [LEVEL] つまみ [MODE] スイッチ ペダル・スイッチ [RISE/FALL TIME] スイッチ [DRIVE KNOB] スイッチ
インジケーター	CHECKインジケーター (バッテリー・チェック、SLOW/FAST切り替え兼用) VIRTUAL ROTOR (バーチャル・ローター)
接続端子	INPUT A (MONO) 、INPUT B、OUTPUT A (MONO) 、OUTPUT B端子 : 標準タイプ SPEED端子 : TRS標準タイプ DC IN端子
電源	アルカリ電池 (9V形) ACアダプター (別売)
消費電流	115mA
連続使用時の電池の寿命	アルカリ電池 : 約2.5時間 ※使用状態によって異なります。
外形寸法	73 (幅) × 129 (奥行) × 59 (高さ) mm
質量 (乾電池含む)	450g
付属品	保証書 チラシ (安全上のご注意、使用上のご注意、お問い合わせの窓口) アルカリ電池 (9V形) ; 本体に接続済み
別売品	ACアダプター : PSA-100S フットスイッチ : FS-5U デュアル・フットスイッチ : FS-6、FS-7 エクスプレッション・ペダル : FV-500H、FV-500L、EV-30、Roland EV-5

* 0dBu=0.775Vrms

* 本書は、発行時点での製品仕様を説明しています。最新情報についてはローランド・ホームページをご覧ください。

使用上のご注意

- 電池のセットや交換は、誤動作や故障を防ぐため、他の機器と接続する前にしてください。
- 電池の消耗が著しいと音が歪みやすくなる、大音量時に音が途切れることがあります但故障ではありません。このようなときは電池を交換、別売のACアダプターを使用してください。
- 電池で使用する場合はアルカリ電池を使用してください。
- 電池が入っていても、電源を入れたまま電源コードをコンセントから抜いたり、ACアダプターを本体から抜いたりすると、電源が切れます。電源コードやACアダプターは、必ず電源を切ってから抜いてください。
- ディスプレイを強く押したり、叩いたりしないでください。
- 本機を使用すると、極めて速いスピードでのLED表示が可能です。そのような映像を見ると、体調によっては頭痛をもよおしたり気分が悪くなったりする可能性があります。本機を用いて、このような健康を害する恐れのある映像を制作しないでください。あなた自身もしくは他の人の健康が害されても、当社は一切の責任を負いません。

知的財産権について

- 本製品は、T-Engine フォーラム（www.tron.org）の T-License 2.0 に基づき μ T-Kernel ソースコードを利用しています。
- 本製品には、第三者のオープンソースソフトウェアが含まれています。
Copyright © 2009-2018 Arm Limited. All rights reserved.
Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License");
You may obtain a copy of the License at
<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>
- Roland、BOSS、ROTARY ENSEMBLEは、日本国およびその他の国におけるローランド株式会社の登録商標または商標です。
- 文中記載の会社名および製品名などは、各社の登録商標または商標です。

RT-2

取扱説明書

01

ローランド株式会社

〒431-1304 静岡県浜松市浜名区細江町中川2036-1

© 2025 Roland Corporation